

## ミズガキがもどってきた！～坂川再生事業～

彼らは、絶滅してはいませんでした。そう、ミズガキたち...つまり、水辺で遊ぶ子どもたちのこと。下の写真 は今年坂川にあらわれたミズガキです。昔はどこにでもいたのに、いつのころからかめっきり見かけなくなっていましたね。このため、絶滅しそうなきものになぞらえて「絶滅危惧種」なんていわれてもいます。ここ**坂川再生**の場所でも一時絶滅したかのようでした。でも最近、水がだいぶきれいになってきた上、いきものがふえてきたことや、水に近づける工夫がなされてきたことなど「生息条件」の回復により、少しずつもどってきているようです。すばらしいことだと思いますか。



レンガ橋の近くで

写真提供：田中利勝さん(市川市在住)



す、スゴイ、巨大モクスガニ

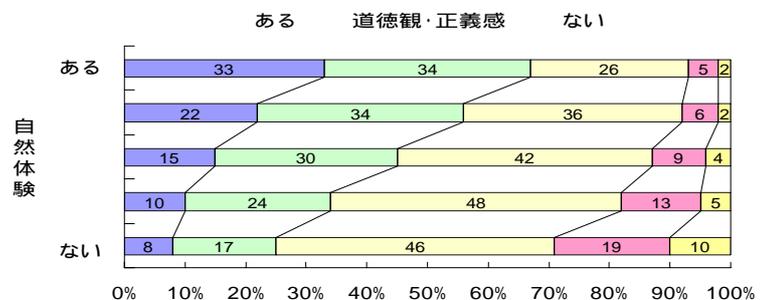


ウナギだっているのだ



ホイッ、つかまえたウナギを川にもどす

そもそも川は、必ずしも人の思いどおりにはならず、危険もひそんでいます。このため安全確保の努力は、今後も続けていかなければなりません。でもやっぱり、天気の良い穏やかな日には、ミズガキの歓声がきこえるのが望ましい川の姿ではないでしょうか。自然にふれあう体験が多いと、道徳心が育まれるというデータもあります(右グラフ)。また、おのずと自分の安全を自分で考えることにもつながります。そんな機会のあるまちは、結局、自然と共生していく安全なまちでもあるのではないのでしょうか。これからもみんなでミズガキを育てる努力をしていきませんか。少しずつ、あせらず...



道徳観・正義感  
・あいさつする  
・悪いことをやめさせる  
・席をゆずる

\*文部省(青少年教育活動研究会) 子ども体験活動に関する調査(H10.7)より

### 坂川再生事業って？(おさらい)

坂川再生事業は、小山<sup>あかひ</sup>～赤塚<sup>あかひ</sup>まで(約950m)の間において、坂川の環境を回復・再生するプロジェクト。事業期間は約10年。川沿いの歴史的な雰囲気を生かしながら、もっと

- いきものがすみやすく
- 人も水辺に近づくことができ
- 川沿いを気持ちよく
- ゆったり歩けるようにする

この3つが主な目的。県・市・住民3者の連携プレーで、坂川を育てていきます。

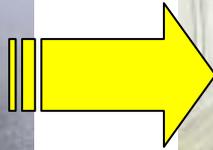


# いよいよメインスポットの整備が始まる！～坂川再生事業～

坂川再生のとりくみが着々と進んでいます。現在、メインスポットのひとつとなる春雨付近の整備が進行中。年内には、水辺の憩いの場(右下の絵)がおおた姿を現すことでしょう。どうぞお楽しみに。



春雨橋近くの今までのようす



水ぎわ近くまで降りられる階段

## ささやかな草刈の工夫

近年、川の中にマコモやヨシなどの植物を再生する工夫がなされました。順調にこれらは根づいてくれています。ただやはり、たまに草刈が必要ですね。でも、すってんてんに刈ってしまったら、鳥や虫たちのすみがなくなってしまう。そこで、マコモなど水際付近の植物は、夏場は一部刈り残すことになりました。人と自然が共生していくためのささやかな工夫というわけです。

こっち側は人が歩ける幅だけ刈る(年3回)



水際の植物は一部刈り残す ココは鳥や虫たちの大事なすみか

夏場の草刈後のようす(陣屋口橋付近)

## 坂川とまちづくり市民の会

去る10月23日、市内一斉清掃の一環として**みんなであそび坂川・秋!**が開催されました(参加者100名)。昨年四季ごとに年4回行うこととなった**あそび**もすっかり定着してきた上、ふだんからこまめにおそうじしてくれる方もおられ、以前よりゴミの量もだいぶ少なくなってきたようです。次回は12月17日の予定。また気持ちよくお正月を迎えましょうね。

それからもうひとつ。11月15日には、横浜市にあるいたち川の見学会がありました(参加者17名)。20年以上の川づくりの歴史がある全国的にも有名な事例で、いわば坂川の大先輩。地元の方たちの美化活動(例:月1回の清掃、年2回の草刈など)や、まちや自然と共生する川づくりのようすをうかがい知ることができました。



みんなであそび



思いがけないお客様



横浜市いたち川にて(左右写真とも)

美化活動には市の補助が出る



お問い合わせは、下記までお気軽にどうぞ。

- ・坂川とまちづくり市民の会...鈴木(鈴和クリーニング 364-5054)、近藤(パルコンドウ 362-5217)
- ・坂川再生事業...千葉県東葛飾地域整備センター・西尾,松戸,林(建設課 364-5136)
- ・みんなであそび坂川 / ほか...松戸市役所・高木,岡本,安食(河川清流課 366-1152)